

研究成果報告書

(国立情報学研究所の民間助成研究成果概要データベース・登録原稿)

研究テーマ (和文) AB		アリ類からみた熱帯林での人為的攪乱ーカンボジアのコミュニティ林業地の現状			
研究テーマ (欧文) AZ		Ant Communities and Human Interruption in Tropical Forests: A Case Study in Community Forest of Cambodia			
研究氏 代 表 名 者	カナ CC	姓)オガタ	名)カズオ	研究期間 B	2011 ~ 2013 年
	漢字 CB	緒方	一夫	報告年度 YR	2013 年
	ローマ字 CZ	Ogata	Kazuo	研究機関名	九州大学熱帯農学研究センター
研究代表者 CD 所属機関・職名		九州大学熱帯農学研究センター・教授			
<p>概要 EA (600 字~800 字程度にまとめてください。)</p> <p>カンボジアでは地域住民の薪炭材利用のため共同で管理されているコミュニティ林がある。本研究は、人為的環境での生物群集の実態を明らかにするため、コミュニティ林を含む人為的攪乱の強度が異なる 3 つのタイプの森林において、生物多様性の指標としてアリ類群集を調査し、種構成の変化を残存(攪乱に弱いアリ類)と侵入(攪乱に強い放浪性のアリ類)の観点から分析する。この成果により地域住民の持続的森林管理への還元を目指す。</p> <p>2011 年 5 月と 12 月にカンボジアを訪れ、カンポンチュナン州のコミュニティ林とカンポントム州の二次林、カンポット州のボコー国立公園にてアリ類の野外調査を行った。樹上の枯れ枝と地上に落ちている枯れ枝を採集して内部に営巣しているアリ類を整理した。コミュニティ林では 12 種、二次林では 15 種、計 24 種のアリ類が得られた。コミュニティ林では放浪種であるアワテコヌカアリアイエヒメアリが優占して見られたが、二次林では <i>Philidris</i> 属の 1 種が優占して見られた。コミュニティ林と二次林の研究成果については今後論文を投稿する予定である。</p> <p>予備調査として、カンボジア南西部にあるボコー国立公園の高標高域 1000m 付近の荒れ地に生息するウツボカズラ <i>Nepenthes bokorensis</i> の捕虫囊に落ち込んだアリ類を調査した。近隣の森林境界から 0~5m、5m~10m、10m~15m の範囲に分布するウツボカズラを対象とし、捕虫囊内のアリ類を乾燥標本にした。それらの標本を属レベルまで同定し、可能な場合には種レベルまで同定した。計 9 属 10 種のアリ類が得られたが、森林境界からの距離によって種数に有意な差は見られなかった。得られた 10 種の中に放浪種とされるキイロハダカアリが含まれていた。本種は在来アリ相に深刻な影響を与えることはないが、攪乱環境によく見られる種であり、周辺環境の人為的攪乱や乾燥化が示唆される。同国立公園は山頂域まで車でアクセス可能であり、避暑地としてカジノやホテルの建設、道路の拡張といった開発が急速に進行している。</p> <p>また、研究成果の概要の一部を一般誌「昆虫と自然」に掲載予定である。森林伐採が大規模に進行するカンボジアの現状やコミュニティ林やゴム林、ボコー国立公園のアリ相について、人為的攪乱と放浪種や森林性の種に言及しながら断片的であるが報告した。</p>					
キーワード FA	カンボジア	アリ類	人為的攪乱	放浪種	

(以下は記入しないでください。)

助成財団コード TA					研究課題番号 AA								
研究機関番号 AC					シート番号								

発表文献（この研究を発表した雑誌・図書について記入してください。）									
雑誌	論文標題 ^{GB}	Species composition of ant prey of the pitcher plant <i>Nepenthes bokorensis</i> Mey (Nepenthaceae) in Phnom Bokor National Park, Cambodia							
	著者名 ^{GA}	Hosoishi, Park, Yamane and Ogata	雑誌名 ^{GC}	Cambodian Journal of Natural History					
	ページ ^{GF}	3~7	発行年 ^{GE}	2	0	1	2	巻号 ^{GD}	2012
雑誌	論文標題 ^{GB}	知られざる国=カンボジアのアリ（校正中）							
	著者名 ^{GA}	細石 真吾	雑誌名 ^{GC}	昆虫と自然					
	ページ ^{GF}	19~22	発行年 ^{GE}	2	0	1	3	巻号 ^{GD}	48 (12)
雑誌	論文標題 ^{GB}								
	著者名 ^{GA}		雑誌名 ^{GC}						
	ページ ^{GF}	~	発行年 ^{GE}					巻号 ^{GD}	
図書	著者名 ^{HA}								
	書名 ^{HC}								
	出版者 ^{HB}		発行年 ^{HD}					総ページ ^{HE}	
図書	著者名 ^{HA}								
	書名 ^{HC}								
	出版者 ^{HB}		発行年 ^{HD}					総ページ ^{HE}	

欧文概要^{EZ}

The aim of this study is to reveal ant communities in human-disturbed forests of Cambodia using tramp species and forest-associated species.

We surveyed forests at Kampong Chhnang, Kampong Thom and Kampot in Cambodia. Samplings were conducted by collecting dead twigs on trees found within a radius of ca 2 m at each sampling point, and those on the ground found within a 1 m x 1 m quadrat. In total, 24 species were collected: 12 spp. were collected in Kampong Chhnang community forest, 15 spp. in Kampong Thom secondary forest. Invasive species, *Monomorium pharaonis* and *Tapinoma melanocephalum* were dominant in community forest, whereas only one species, *Philidris* sp. was dominant in secondary forest.

In a preliminary survey, we sampled ants that had been trapped by the pitchers of *Nepenthes bokorensis*, which is distributed in Bokor National Park, Kampot. A total of 10 species in nine genera were collected from *N. bokorensis*. The *Cardiocondyla wroughtonii* complex is generally known from open habitats and disturbed areas. Although the impacts of *C. wroughtonii* on native ant fauna appear less harmful than those of other invasive ants, close attention should be devoted to this species nonetheless.

We also report several findings of the field surveys in the general magazine, "The Nature & Insects" (in Japanese).